

M82

"EYE" Examination Simulator (3 steps)

眼底診察シミュレータ

- ⚠ Caution | Do not mark on the model and other components with pen nor leave printed materials contacted on surface.
Ink marks on the models cannot be removed.
- ⚠ 注意 | モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

Instruction Manual

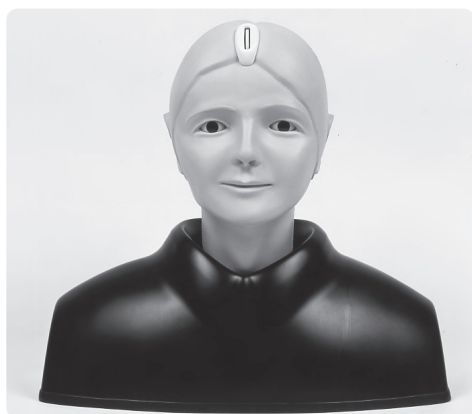
取扱説明書

Contents / 目 次

- 日本語取扱説明書P.7～P.11



"EYE" Examination Simulator Dark tone



"EYE" Examination Simulator Light tone
眼底診察シミュレータ

動画サイト



日本語サイト

https://youtu.be/haBoLsk_NZQ



KYOTO KAGAKU co.,LTD

“EYE” Examination Simulator

眼底診察シミュレータ



注意

モデル表面に印刷物などが直接触れないように
してください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

取扱説明書

目 次

● はじめに	P.7
● ご使用の前に	
ご使用上の注意	P.8
セット内容のご確認	P.9
● 実習の準備	P.10
● 実習の準備と後片付け	P.11

株式
会社

京都科学

はじめに

このたびは、当社の眼底観察モデルをお買い上げいただき、ありがとうございます。
本製品は、直像検眼鏡での眼底部観察の理解を深め、手技の上達を目的としたシミュレーションモデルです。医学・看護教育用の補助機器としてご使用ください。

● 必ずお読みください

本製品は、医学実習を目的として製作されたモデルです。本来の使用目的以外にはご使用にならないでください。また、説明書に記載された方法でのご使用による万が一の破損や事故の場合、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。ご使用上の注意を必ずお読みになってからご使用ください。

症例画像部分には絶対に手を触れないでください（指紋等の汚れは完全に除去できません）

必要以上の力を加えたり、落下させますと破損等の原因となりますのでご注意ください。

ご使用の際に不具合等がございましたら、お手数ですがお買い求めの販売店もしくは株式会社京都科学までご連絡ください。（連絡先はこの取扱説明書の巻末に記載しています）

● 特 長

- 市販の直像検眼鏡を、実際と同じ方法で使用して眼底が観察できます。
（直像鏡をうまく操作できないと、眼底は観察できません。）
- 眼球部品にレンズを使用することにより、実際に近い眼軸状態が再現されています。
- 瞳孔の縮～散瞳が三段階（約φ 2・3.5・5 mm）に切替えが可能となっており、眼底検査練習の難易度を設定することができます。
- 眼底部の症例画像をセットするスリットは三段構造になっており、セットする位置によって眼軸の遠視・正視・近視状態の再現が可能です。
- 症例画像は、正常眼底のほか数種類の代表的な病変症例を付属させています。
- マスクには柔軟な素材を使用していますので、瞼の持ち上げなど実際に近い状態で練習できます。
- 各症例の解説が別紙に記載されていますので、症例ごとの特徴を効果的に学習できます。

ご使用上の注意

- ・ 直像検眼鏡は、反射防止フィルタ付きを使用してください。
- ・ 瞼の開閉は人体同様にやさしく扱ってください。
- ・ 症例画像表面は、キズや汚れがつかないように注意してください。
- ・ 症例画像表面のホコリ、ゴミの除去は付属のブロワをご使用ください。
- ・ 瞳孔径可変の際のノブは軽く回転させてください。

⚠ 注意

● 取り扱いにご注意ください。

特殊軟質樹脂を使用していますので、落下や強い衝撃を与えると破損の原因となります。また皮膚部の脱着の際、無理な負荷がかかりますと破損しますので十分ご注意ください。

● 中性洗剤又はアルコールで拭き取ってください。

モデルの汚れは水又は中性洗剤で、汚れが落ちにくい場合はアルコールで拭き、ベビーパウダーを塗布しておいてください。シンナーなどの有機溶剤は、絶対に使用しないでください。

● 印刷物をモデル表面におかないでください。

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂にインクが吸収されて消えなくなります。

● ボールペンやサインペンで書き込まないでください。

サインペン、ボールペンなどでモデルに書き込むと、インクが吸収されて消えなくなります。

● 高温多湿を避けて保管してください。

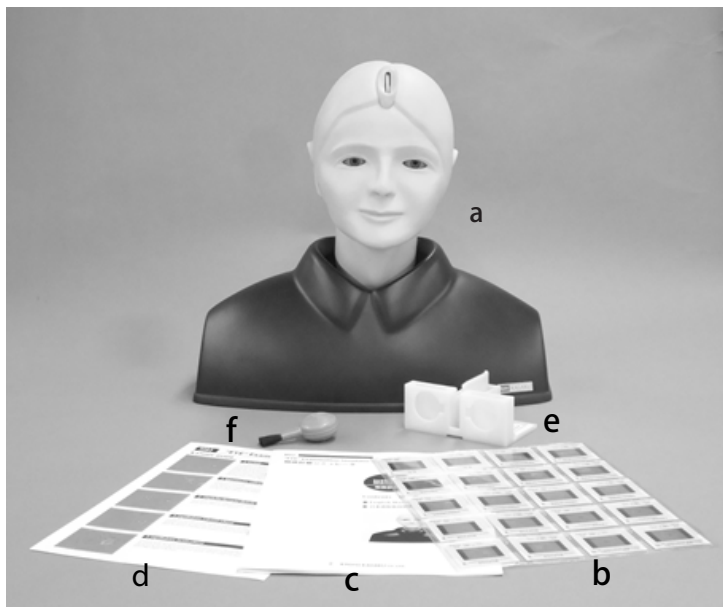
使用後は、高温多湿や直射日光のあたる場所での保管は避けてください。
変形や故障の原因となります。

● 表面が変色する場合があります。

長期間使用されない場合や経年変化で変色することがありますが、ご使用には差し支えありません。

セット内容と各部の名称

ご使用の前に、構成品が全て揃っているかご確認ください。



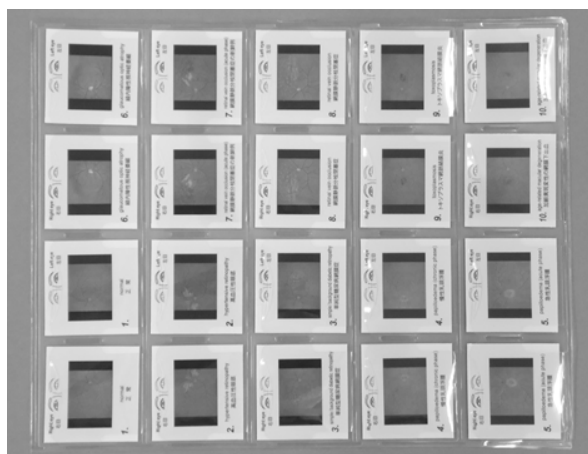
- a. モデル本体 1台
- b. 症例画像ファイル 1冊
- c. 取扱説明書 1冊
- d. 症例解説 1点
- e. 症例画像ホルダー 1点
- f. ブロワ 1点

仕 様

本 体：成人頭胸部モデル
 材 質：軟質特殊樹脂・硬質樹脂
 重 量：約 2 kg
 寸 法：幅42×奥行22×高さ38cm
 (モデル本体)

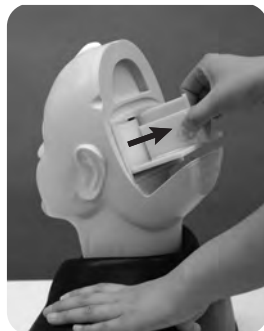
消耗品 一覧

コード番号	部品名
11220-010	症例画像ファイル 10症例（左右各1枚）



1 準備

1. 症例画像のセット

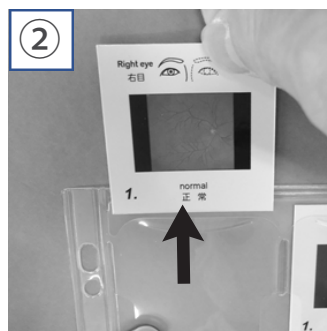
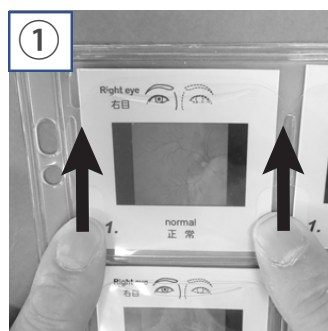


1. 頭部の裏蓋を取り外します。
2. 症例画像ホルダーを頭部に内蔵されている眼球ユニットから引き抜きます。

ホルダーは眼球ユニット内上部のベアリングで固定されていますので、少し力を加えて引っ張るとスライドして取り出せます。



注意 マスクから眼球ユニットを取り外さないでください。

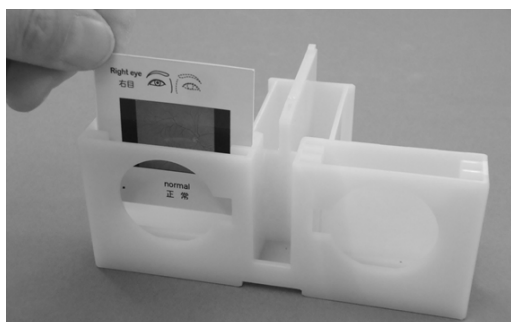


3. 症例画像の取り出し

画像部分に触れないよう注意して症例画像を扱います。

① 症例画像の白い枠の下端を押して症例画像をポケットから押し上げます。

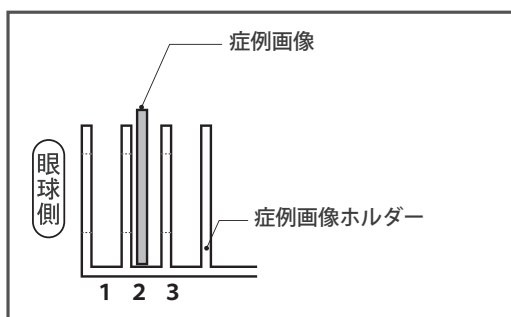
② 症例画像の白い枠の上端をつまんでフォルダから取り出します。



4. 症例画像の取り付け

症例画像の白い枠に記載された挿入方向にしたがって、ホルダーの中央のスリットに差し込みます。（左の写真では右眼に症例を取り付けています）

症例画像の左右を間違わないように挿入してください。挿入方向を間違えますと乳頭位置などが正しく観察できません。



左の図に示すように1のスリットに症例画像を挿入すると遠視、2に挿入すると正常、3に挿入すると近視状態になりますので、直像眼底鏡レンズ度数変更を理解する練習になります。

（ホルダー中央の仕切り部分に、症例画像を収納することができます。ご自由にお使いください）



注意

症例画像は、手の油などで汚れたりキズがつくと実習の際に観察し難くなりますので、移動される時は必ず白い枠の部分を持ってください。

画像部分にホコリやゴミが付着した場合は、付属のブロフで除去してください。

（画像部分には触れないでください。指紋などが付着すると除去できなくなります）

準備と後片付け

1 準備

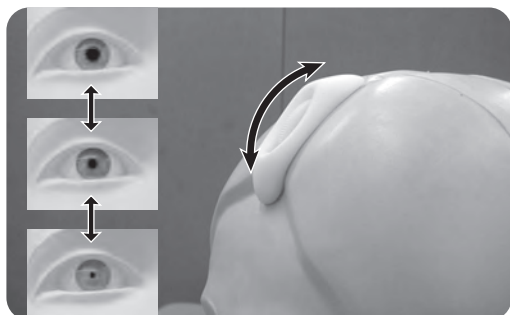


5. 写真のように症例画像ホルダーを少し傾けながら眼球ユニットに差し込み、ユニットの奥まで挿入します。



6. マスクの裏蓋を取り付けてください。頭部に裏蓋を取り付ける時は、頭部にある凸部を裏蓋の凹部を合わせながら、裏ブタを頭部に取り付けます。

2. 瞳孔径の切り替え



瞳孔は3段階に可変します。
前頭部にあるノブを上回転させると散瞳、下に回転させると縮瞳です。



注意

.....
ノブは軽く回転してください。上・中央・下の三箇所ですまようになっています。(限界以上に力を加えて回転すると破損する恐れがあります。ご注意ください。)



以上で実習の準備ができました。

- ・直像検眼鏡を使用して練習してください。
- ・直像検眼鏡の光が強い場合は、反射防止フィルタにするか光度を落として実習してください。

2 後片付け

1. 使用後の後片付け

使用後モデル本体の表面が汚れた場合は、水または薄めた中性洗剤をつけた布で拭き取ります。
頭部には乾燥後ベビーパウダーを薄く塗布しておいてください。

高温・高湿度になるような場所は避けて保管してください。



Caution

Don't mark on the model and other components with pen or leave printed materials contacted on their surface.
Ink marks on the models will be irremovable.

For inquiries and service, please contact your distributor or KYOTO KAGAKU CO., LTD.



注意

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにして下さい。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

本製品についてのお問い合わせや不具合等ございましたら、お手数ですがお買い上げの販売店、もしくは下記（株）京都科学まで御連絡ください。

KYOTO KAGAKU co.,LTD

<http://www.kyotokagaku.com> e-mail: rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

■ Main Office and Factory

15 Kitanechoya-cho Fushimi-ku Kyoto 612-8388, Japan
Telephone : 81-75-605-2510
Facsimile : 81-75-605-2519

■ 本社・工場

〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町15番地
TEL : 075-605-2510 (直通)
FAX : 075-605-2519

■ KyotoKagaku America Inc.

USA, Canada, and South America
3109 Lomita Boulevard, Torrance, CA 90505, USA
Telephone : 1-310-325-8860
Facsimile : 1-310-325-8867

■ 東京支店

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番6号
NREG本郷三丁目ビル2階
TEL : 03-3817-8071 (直通)
FAX : 03-3817-8075

The contents of the instruction manual are subject to change without prior notice.

No part of this instruction manual may be reproduced or transmitted in any form without permission from the manufacturer.

Please contact manufacturer for extra copies of this manual which may contain important updates and revisions.

Please contact manufacturer with any discrepancies in this manual or product feedback. Your cooperation is greatly appreciated.

本書の内容は、予告なしに変更することがあります。本書の内容の一部もしくは全部を当社に無断で複写・転載することを禁じます。
本書の内容に、万一不審な点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、当社もしくは販売店にご連絡ください。